

第35回洛和会ヘルスケア学会
令和7年10月19日(日) TQM発表

資材センターにおける
セグメント目標進捗報告会議見直しの効果

(株)シンザイ 資材センター
TQM委員会
発表者：山本 航汰

【背景】

資材センターでは

毎週水曜日の朝（8時30分～9時00分）にセグメント目標進捗報告会議を実施
（各部門週替わり）

固定されたメンバー

数人のみの参加（参加率50%）

朝30分間の拘束



- ・職員全員がセグメント進捗報告書を確認する習慣がない
- ・セグメント目標達成に向けての関心が薄い
- ・8時30分から業務開始することができない

【 目的 】

報告方法を会議からDX化へ!!



職員全員がセグメント進捗報告書を確認できる！

職員全員のセグメント目標達成に向けての関心を高める！

【方法】

変更内容 ①

毎週のセグメント進捗報告をチャットにて実施

〈内容〉

- ・ 資料作成担当者は各チーム内で決定し、他人ごとにならないように持ち回りで作成
- ・ 資料提出期限は、毎月第3月曜日の17：15までに提出（月曜日祝日の場合は火曜日）
- ・ 職員は毎月必ずTeams上で報告を確認し、月末までに「いいね」マークを付けることをルール化
- ・ 質問がある場合はTeams内か口頭で行う

【方法】

変更内容 ②

年2回（上半期・下半期）集合形式での全体発表会議を実施

◇意義

1. セグメントへの関心を全員で高めるため
2. 若手職員に発表機会を設けるため

〈内容〉

- ・ 上半期：10月初旬、下半期：4月初旬に実施
- ・ 発表者については偏りをなくするため、各部門の管理職の指名で決定

【結果】

職員全員が好きな時間にセグメント進捗報告書を確認できるようになった!!



今まで会議に参加していなかった職員も参加するようになった！

職員全員のセグメント目標達成に向けての関心が高まった！

「いいね」マークが100%つくようになった！

8時30分から業務開始することができた！

【 考察 】

Teamsを用いて進捗報告を実施



- ・ 職員全員が好きな時間にセグメント進捗報告書を確認できるようになった
- ・ 職員がリアルタイムで情報共有することが難しかったが、DX化する事により可能となった
- ・ チャット内で資料を共有する必要性が出てきたことで、工夫が求められるようになり、資料作成のスキルが向上した

【まとめ】

